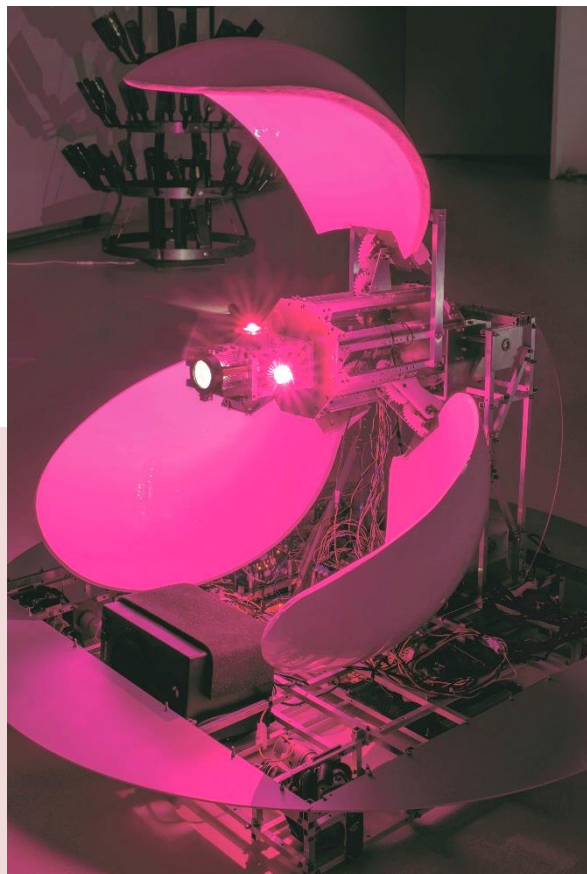




「やなぎみわ展 神話機械」関連ワークショップ 機械と朗読

アートと機械の融合した出品作品《神話機械》のマシンたちの抽象的な運動に、言葉を伴走させる新しい朗読を試みます。《神話機械》は、音響と照明で自律的に演劇を行う、マシンの作品です。当イベントでは、4台のマシン作品の動きに合わせて、シェイクスピア「ハムレット」の1シーンの台本を朗読し、マシンと人が協力して演劇を生み出します。



《神話機械・タレイア》2019年 作家蔵 撮影：表恒匡

開催日 **2020年1月12日(日)**

時間 10:00~16:00 (12:00~13:00 昼休)

場所 静岡県立美術館 実技室※/企画展示室

※開館後に実技室にて受付いたします。

対象 中学生以上の個人

定員 12名

参加費 要観覧料(一般 1,200円 70歳以上 600円 大学生以下無料)

持ち物 昼食・リーディング資料※

※ワークショップまでにリーディング資料を送付いたします。

ご一読の上、当日ご持参ください。



講師：やなぎみわ氏（美術家）

1967年神戸市生まれ。1990年代半ばより、CGや特殊メイクを駆使した写真作品を発表し、商業施設空間に案内嬢達が佇む《エレベーター・ガール》、女性が空想する半世紀後の自分を写真で再現した《マイ・グランドマザーズ》、少女と老婆が登場する物語を題材にした《フェアリー・テール》シリーズ等により国内外で個展多数。2010年より本格的に演劇プロジェクトを開始。これまで、大正期の新興芸術運動の揺籃を描いた《1924》三部作や、台湾で製造したステージトレーラーを使用した野外劇《日輪の翼》等の上演がある。

撮影：沈昭良

【お申込み＆お問い合わせ先】

下記のいずれかの方法でお申込み下さい。各回定員に達し次第、募集を締め切ります。

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込み

県美HPアドレス：<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

締切：2020年1月4日 **必着**

静岡県立美術館 学芸課 実技室 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 TEL:054-263-5857 FAX:054-263-5742



WEB申込みはこちら

お申込み用紙



「やなぎみわ展 神話機械」関連ワークショップ

機械と朗読

2020年1/12(日)

氏名

(中・高・大) 年生・大人

TEL

ご住所

電話の繋がりがやすい時間帯

時頃

※ご記入いただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。
※定員に達し次第、募集を締め切ります。